

4 備え

こんなときには どうすれば



はげしい雨や風などで 危ないときは、
どのくらい危ないかの お知らせがあります。
テレビやラジオ、インターネット、横浜市からのメールなどで
知ることができます。危なさには レベルがあります。

それぞれのレベルで どのような行動をすればいいか、下の表で確認しましょう

レベル 1	<p>大雨になりそうな状態です</p> <ul style="list-style-type: none"> 天気予報などを確認します。 家の窓やドアなど、壊れそうなものがないか確認します。 避難するときに 持っていくものを確認します。 家族や支援者に連絡をして、自分がどうすればいいか確認します。 	
レベル 2	<p>避難の準備をしてください</p> <ul style="list-style-type: none"> ハザードマップなどで、危険な場所と安全な場所を確認します。そして、避難する方法と場所を確認します。 「大雨注意報」「洪水注意報」が出ていることがあります。 	
レベル 3	<p>障害のある人や 高齢の人は 避難してください</p> <ul style="list-style-type: none"> 危ないところにいる場合、避難できる場所を確認します。避難する場所が決まったら、避難します。 「氾濫警戒情報」「大雨警報」「洪水警報」が出ていることがあります。 	
レベル 4	<p>全員が 避難してください</p> <ul style="list-style-type: none"> 危ないところにいる場合、全員が避難します。 ニュースなどでは「避難指示」という言葉が出ます。 「氾濫警戒情報」「土砂災害警戒情報」が出ていることがあります。 	
レベル 5	<p>命を守ってください</p> <ul style="list-style-type: none"> すでに川などの水があふれたり、崖や地面が崩れたりしています。絶対に 外に見に行かないでください。 まだ避難できていない場合は、少しでも危険から離れます。家に水が入ってきたらなるべく上に行きます。崖が崩れていたらなるべく遠くに行きます。 「大雨特別警報」が出ていることがあります。 	

はげしい雨や風のと看に

自分を守れるよう、

ふだんから 備えておきましょう



1 備え

今すぐに できること

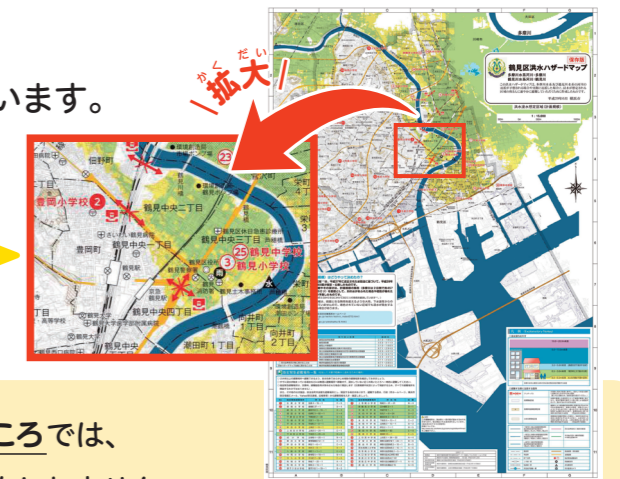
（ 連絡先を確認しましょう ）

避難することになりそうなときは、
家族や支援者と 連絡を取って 相談しましょう。
相談する 家族や支援者の連絡先を
右に書いておきましょう。
また、避難するときに
どのような行動を すればいいか、
ふだんから 家族や支援者と 話せるとよいです。

家族・支援者の連絡先	
名前	電話番号

（ 住んでいるところに どんな危険があるか知りましょう ）

家の近くで どのところが危ないかを示した
地図があります。 **ハザードマップ** といいます。



ハザードマップは自分が住んでいる
区の 区役所でもらえます。

たとえば

- 崖の近くや 地面がやわらかいところでは、崖や地面が崩れて 家が壊れるかもしれません。
- 川の近くでは、大雨で川の水があふれて、水が家に入ってくるかもしれません。

そな 備え
2

避難するとき 持っていくもの

必要なものを確認しましょう

住んでいるところや雨や風のはげしさによっては、避難をすることがあります。

避難するときには、生活に必要なものを自分で持っていきます。



忘れずに持っていきましょう

- 家の鍵、保険証
- 障害者手帳や障害者手帳や保険証などの身分証明書
- 現金や通帳、銀行のカード
- いつも飲んでいる薬
- 携帯電話やスマートフォン、充電器
- いつも使っている眼鏡やコンタクトレンズ

身に付けていきましょう

- ヘルメット
- 厚底の運動靴
- レインコート (傘を持っていくのは危ないです)

防災バッグなどに入れておきましょう

- 乾パンや缶詰など、料理しなくても食べられるもの
- 飲みもの (500ml くらい)
- 紙皿、紙コップ
- ばんそうこう、消毒薬、体温計
- トイレパック
- 懐中電灯
- 携帯ラジオと電池
- 下着、上着、靴下などの着るもの
- 軍手
- タオル
- マスク、ビニール袋
- ティッシュやウェットティッシュ

そな 備え
3

はげしい雨や風が来る前に

雨や風の情報を知りましょう

「横浜市防災情報 Eメール」に登録しておく、避難が必要なときにメールが届きます。まずは右に書いてあるアドレスにメールを送ってください。

横浜市防災情報 Eメール

bousai-yokohama@cousmail-entry.cous.jp

件名や本文は何も書かなくていいです。

はげしい雨や風などが来そうなときは

テレビやラジオ、インターネットなどで状況を確認しましょう。横浜市のホームページやツイッターにも情報がのります。「横浜市 防災情報」と検索してみてください。川や崖など外の様子を直接見に行くことは危ないです。絶対にしないでください。

ホームページ・ツイッター

横浜市 防災情報

検索

避難のしかたを知りましょう

避難のしかたは、状況によって違います。今いる場所から離れる方法と、高いところに逃げる方法があります。自分が安全に避難できる場所を、確認しておけるとよいです。



水平避難 今いる場所から離れる

安全なところに逃げます。たとえば、安全なところにある知り合いの家や、安全なところにあるホテル、避難場所として決められたところなどがあります。



垂直避難 高いところに逃げる

すでに水が近くまで来ている場合などは、できるだけ高いところに行きます。家などの2階より上に行ったり、近くの高い建物に行きます。

